



Kaspersky Endpoint Security 10 SP1 MR2 デバイスコントロール 一時使用許可設定ガイド

2016/06/18

株式会社カスペルスキー コーポレートビジネス本部

セールスエンジニアリング部

Ver. 2.0



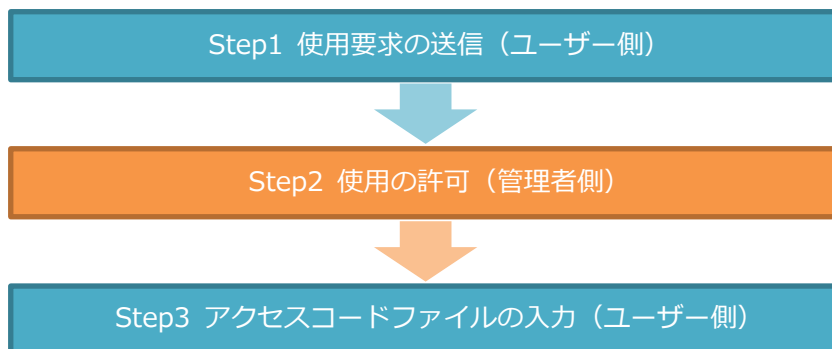
目次

| | |
|-----------------------------------|---|
| 本資料の目的と操作の概要 | 2 |
| Step1 使用要求の送信 (ユーザー側) | 3 |
| Step2 使用の許可 (管理者側) | 5 |
| Step3 アクセスコードファイルの入力 (ユーザー側)..... | 7 |

本資料の目的と操作の概要

本資料では、Kaspersky Endpoint Security 10 SP1MR2 (以下 KES) のデバイスコントロール機能により、ユーザー側から制限されているデバイスの使用要求を管理者に出す方法と、管理者側でその要求を受けて許可する方法を説明します。

許可は次の 3 ステップで行います。

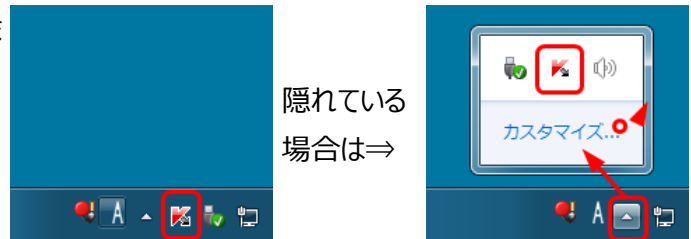


| | |
|------------------------------------|-----|
| Step1 使用要求の送信 (ユーザー側) | P.3 |
| Step2 使用の許可 (管理者側)..... | P.5 |
| Step3 アクセスコードファイルの入力 (ユーザー側) | P.7 |

Step1 使用要求の送信 (ユーザー側)

KES から管理者へ「アクセスの要求」を送ります。

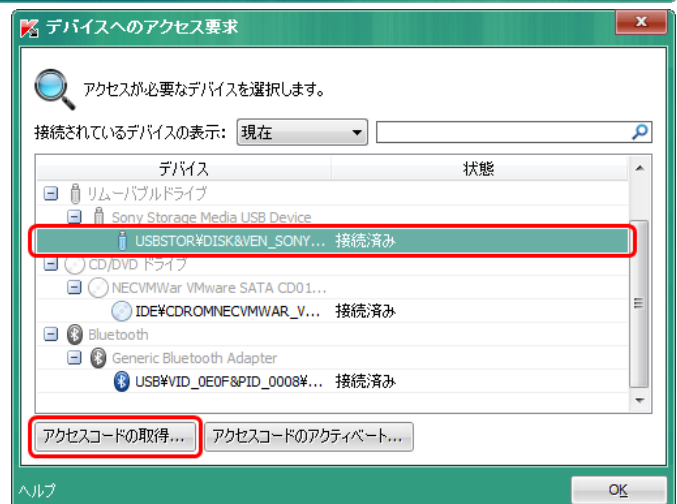
- ① タスクトレイにあるKESのアイコンをダブルクリックします。



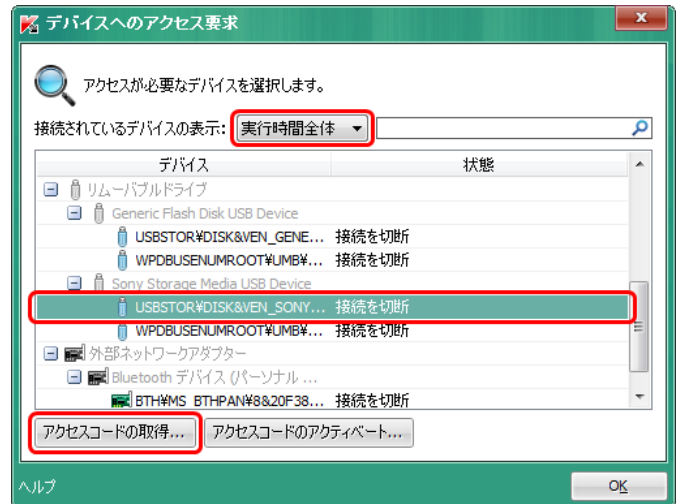
- ② KESが起動するので、「設定」タブで「デバイスコントロール」を選び「アクセスの要求」ボタンをクリックします。



- ③ 「デバイスへのアクセス要求」画面が表示されるので、使用したいデバイスを選択し、「アクセスコードの取得」ボタンをクリックします。



※上記操作時に使用したいデバイスを接続していない場合、「接続されているデバイスの表示」で「実行時間全体」を選択します。過去接続したデバイスが一覧に表示されるので、選択して「アクセスコードの取得」をクリックします。



④ 使用したい期間を入力し、「保存」ボタンを押します。



⑤ 「アクセスキーの保存」画面が開くので保存場所を選択して「保存」をクリックし、アクセスキーファイル (*.akey) を保存します。

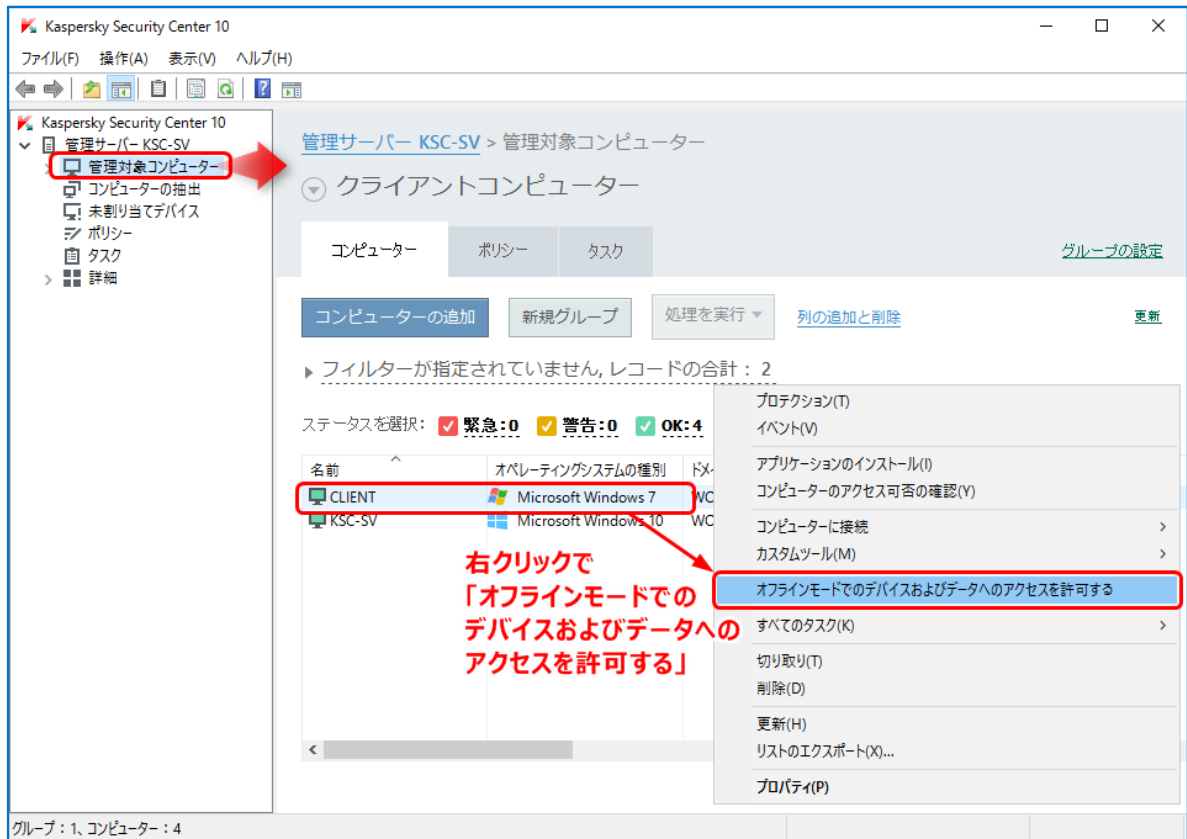


⑥ 保存したアクセスキーファイルをメールなどで管理者へ送信します。

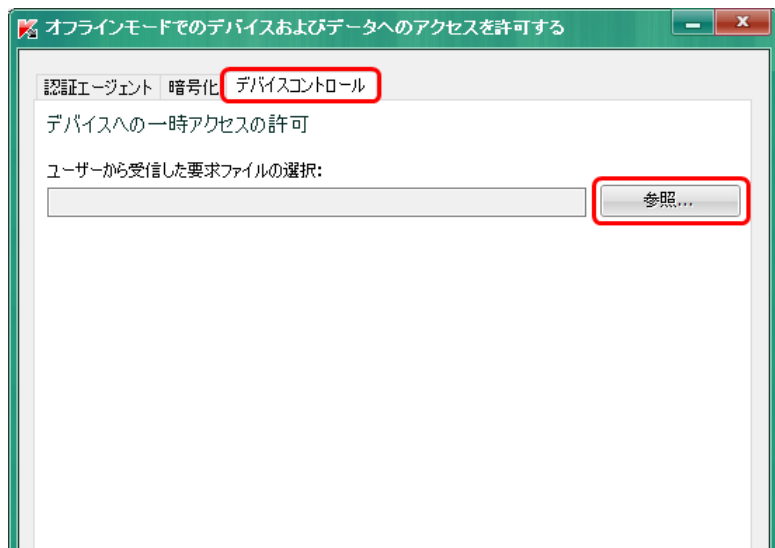
Step2 使用の許可 (管理者側)

ユーザーから受け取ったアクセスキーファイルを元に、KSC でアクセスコードファイルを作成し、ユーザーに送ります。

- ① ユーザーからアクセスキーファイルを受信します。
- ② KSC で、該当するコンピューター名を探し、右クリックでメニューを表示して「オフラインモードでのデバイスおよびデータへのアクセスを許可する」をクリックします。

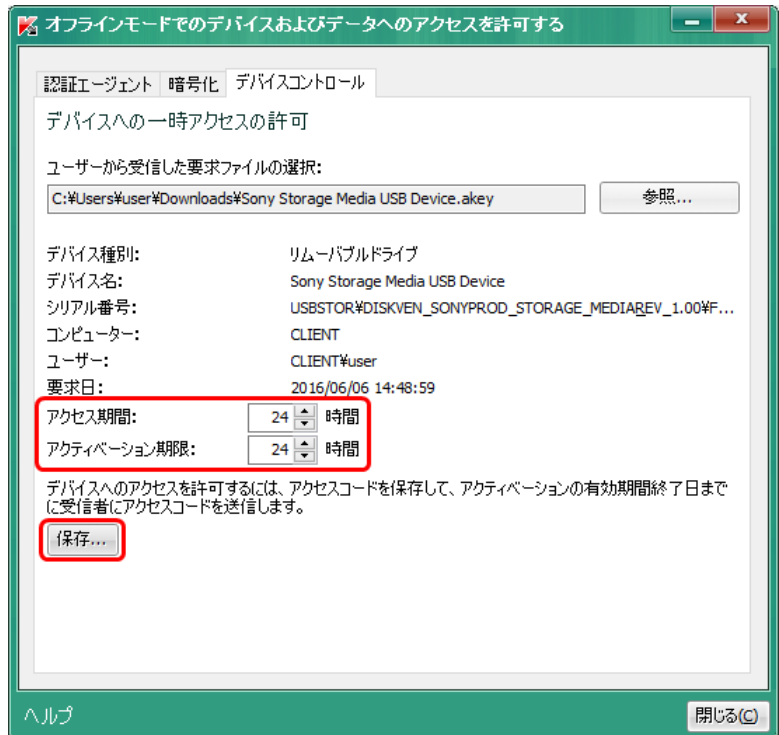


- ③ 設定画面が開くので、「デバイスコントロール」タブで「参照」をクリックしてクライアントから受け取ったアクセスキーファイル (*.akey) を開きます。

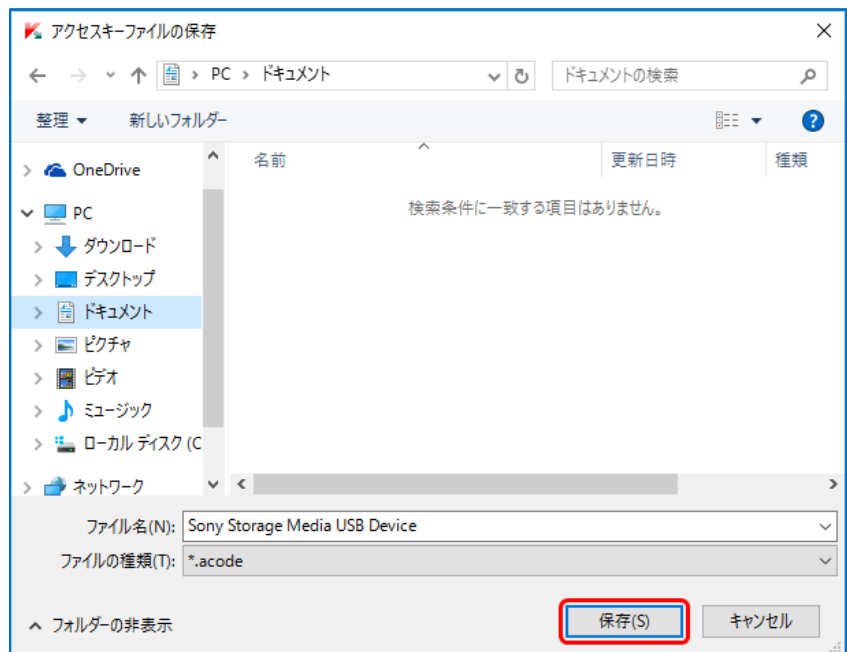


④ アクセスキーを読み込むと、申請されたデバイス等が表示されます。

アクセス期間やアクティベーション期限を確認し、必要に応じ変更して「保存」をクリックします。



⑤ アクセスコードファイルを保存します。

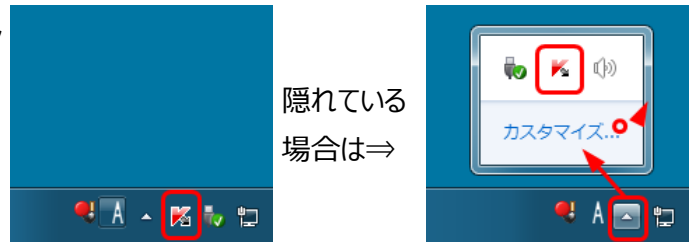


保存したアクセスコードファイルを、使用要求を送ってきたユーザーにメールなどで返信します。

Step3 アクセスコードファイルの入力（ユーザー側）

管理者から送られてきたアクセスコードファイルを KES で読み込んでアクティベートします。

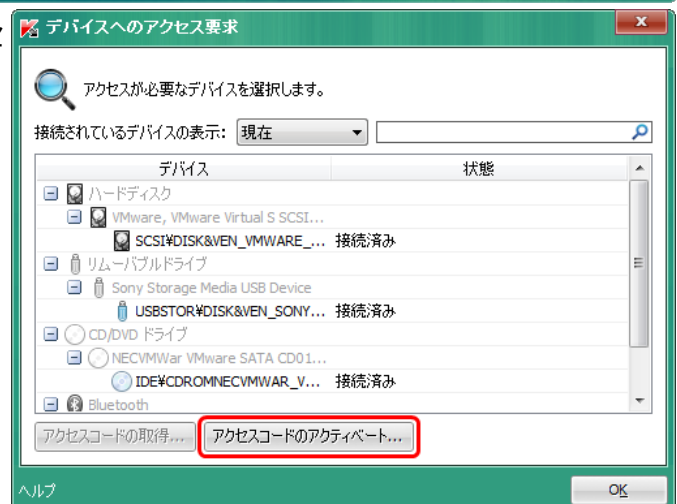
- ① タスクトレイにある KES のアイコンをダブルクリックします。



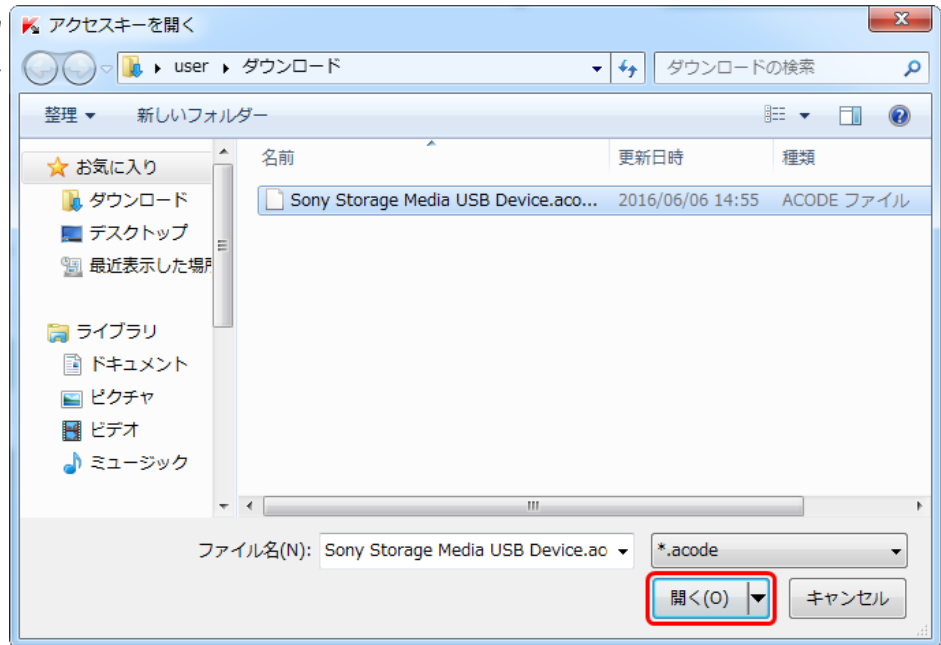
- ② KESが起動するので、「設定」タブで「デバイスコントロール」を選び「アクセスの要求」ボタンをクリックします。



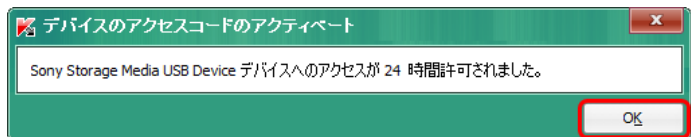
- ③ 「デバイスへのアクセス要求」画面が開くので、「アクセスコードのアクティベート」をクリックします。



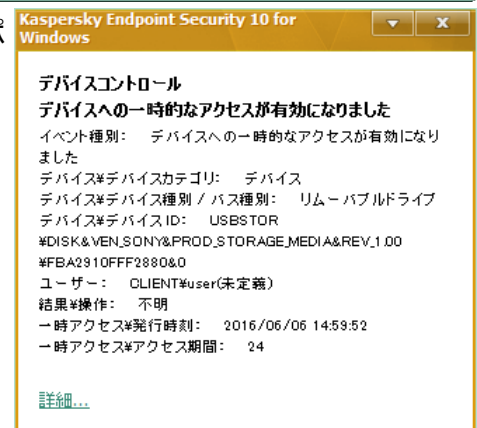
- ④ 管理者から送られてきたアクセスコードファイルを選択して「開く」をクリックします。



- ⑤ メッセージが表示されるので「OK」をクリックします。
これでデバイスの使用が一時的に許可されました。



なお、デバイスを接続した状態でアクティベートした場合は右のようなポップアップメッセージも表示されます。





株式会社カスペルスキー

〒101-0021 東京都千代田区外神田 3-12-8 住友不動産秋葉原ビル 7F

www.kaspersky.co.jp | www.viruslistjp.com

©2016 Kaspersky Labs Japan. Kaspersky Anti-Virus および Kaspersky Security は、Kaspersky Lab ZAO の登録商標です。
その他記載された会社名または製品名などは、各社の登録商標または商標です。なお、本文中では、TM、®マークは明記していません。
記載内容は 2016 年 4 月現在のものです。記載された内容は、改良の為に予告なく変更されることがあります。